

= 支部だより =

東北支部

東北支部大会の開催報告

2010 年度の東北支部大会（理事会，総会，授賞式，特別講演会，研究発表会）が 2010 年 4 月 16 日（金）・17 日（土）の両日にわたって，宮城大学食産業学部で開催され，会員を中心に 30 名が参加し，特別講演会と 21 件の研究発表が行われた。特別講演会では，宮城大学食産業学部の西川正純教授による「機能性食品素材 EPA・DHA の機能と商品化について—融点を利用した精製法を中心に—」，同じく加藤徹教授による「地球温暖化による農業用水等への影響—ダム流域における流出量変化のシミュレーション—」の 2 件の講演が行われた（図 1）。また，今年度の東北雪氷賞が，功績賞 1 名，学術奨励賞 1 名に授与された。来年度の東北支部大会は岩手県で開催される予定である。

特別講演と研究発表会の内容は今夏発行予定の「東北の雪と生活」25 号に掲載される予定である。



図 1 特別講演会（撮影：阿部修）

第 1 日目 4 月 16 日（金）

理事会 9:15~10:45

総会・授賞式 11:00~12:15

[審議内容]

・ 2009 年度事業報告，会計報告

- ・ 2010 年度事業計画，予算計画
- ・ 2010 年度東北雪氷賞受賞者選考結果報告
- ・ 東北支部設立 25 周年記念事業の計画
- ・ その他

[東北雪氷賞受賞者]

功績賞：佐藤幸三郎（元青森大学教授）

「雪氷研究を通じて雪国の市民生活向上に貢献した功績」

学術奨励賞：石田祐宣（弘前大学大学院理工学研究科）

「融雪過程における熱・水収支の研究とその融雪装置への応用」

特別講演会 13:30~14:30

「機能性食品素材 EPA・DHA の機能と商品化について

—融点を利用した精製法を中心に—

西川正純（宮城大学食産業学部教授）

「地球温暖化による農業用水等への影響

—ダム流域における流出量変化のシミュレーション—

加藤 徹（宮城大学食産業学部教授）

研究発表会

積雪・降雪 14:45~15:30

座長：阿部修（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）

1. 屋根に雪が積もり始める条件について
佐藤 威・望月重人（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）
2. 積雪アルベドの推定方法に関する研究
新見幸奈・山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）
3. 秋田大学の新ドップラーレーダシステム
佐々木佳明（秋田県立大学生物資源科学部），本谷 研（秋田大学教育文化学部）

雪崩・吹雪 15:45~17:15

座長: 山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科)

本谷 研 (秋田大学教育文化学部)

4. 雪崩構造物の検討課題
阿部孝幸 (KTB 協会)
5. 雲粒のない降雪結晶からなる弱層の薄片構造と剪断強度について
阿部 修・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
6. 大蔵村塩台における自動吹雪観測と吹き溜まり調査について
阿部 修・山口 悟・根本征樹・望月重人・佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター), 小野正光 ((株)双葉建設コンサルタント)
7. 雪片の衝突による積雪面の削剥現象について
佐藤 威・根本征樹・小杉健二・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
8. 吹雪空間濃度および吹きだまりに及ぼす粒子落下速度の影響に関する数値実験
根本征樹・佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
9. 地形起伏が吹雪発達過程に及ぼす影響に関する風洞実験
根本征樹・佐藤 威・小杉健二・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)

第2日目 4月17日(土)

氷河・気候・凍土・融雪 9:30~10:45

座長: 佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)

赤田尚史 (環境科学技術研究所)

10. ブータンおよびネパールヒマラヤの氷河湖堰止めモレーンダム構成 材料の性質の比較
梅村 順 (日本大学工学部)
11. 寒風山風穴について
本谷 研・成田憲二 (秋田大学教育文化学部), 原田鉦一郎 (宮城大学食産学部)
12. アラスカ・スワード半島における火災後の永久凍土の地温・水分量の変化について
原田鉦一郎 (宮城大学食産学部), 成田憲二

(秋田大学教育文化学部), 齊藤和之・福田正己 (アラスカ大学フェアバンクス校)

13. 北極海の海水面積ならびにアルベドの季節変化と経年変化
力石國男・一色倫聡 (弘前大学大学院理工学研究科)
14. 太陽熱利用型駐車場融雪システムの性能評価と効率化
升光智久 (弘前大学理工学部), 石田祐宣・力石國男 (弘前大学大学院理工学研究科)

着氷・雪氷化学 11:00~12:45

座長: 石田祐宣

根本征樹 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)

15. 低温風洞による樹氷の生成・成長に関する実験的研究 (第3報)
本谷 研・青田沙奈栄・沢田石智・吉田涼平 (秋田大学教育文化学部), 小杉健二 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
16. 蔵王の樹氷の変化について
柳澤文孝 (山形大学理学部)
17. 青森県内における大気中非水溶性粒子の降下量とその化学組成
赤田尚史・長谷川英尚・川端一史・近藤邦男・築地由貴 (環境科学技術研究所), 鈴木利孝 (山形大学理学部), 佐藤忠広 (東北ニュークリア), 武田 晃・久松俊一 (環境科学技術研究所)
18. 山形県新庄市で採取している冬季降水 (全降下物) と融雪に含まれる溶存成分の収支バランス (1) 2007-2008 年
木綿諒典 (山形大学大学院理工学研究科), 柳澤文孝 (山形大学理学部), 阿部 修 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
19. 山形県新庄市で採取している冬季降水 (全降下物) と融雪に含まれる溶存成分の収支バランス (2) 2008-2009 年
木綿諒典 (山形大学大学院理工学研究科), 柳澤文孝 (山形大学理学部), 阿部 修 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新

- 庄支所)
20. 中国四川省成都市でアンダーセンサンプ
ラーを用いて採取したエアロゾルの化学組
成の経年変化
伊藤寛人 (山形大学大学院理工学研究科),
柳澤文孝 (山形大学理学部)

21. 降雪システムと降雪量変動
渡邊 明 (福島大学大学院共生システム理
工学研究科)
(宮城大学食産業学部 原田鉦一郎)
(環境科学技術研究所 赤田尚史)
(2010 年 5 月 28 日受付)

北信越支部

北信越支部雪氷研究大会の報告

北信越支部では 5 月 14 日～16 日の 3 日間、「北
信越支部雪氷研究大会」と題し、新潟県小千谷
市・長岡市において複数のイベント (学習会、総
会、支部賞授賞式、研究発表・製品発表検討会、
雪氷楽会、技術交流会、見学会) を以下のとおり
集中的に開催した。

5 月 14 日 (金)

支部学習会 15:30～17:30
(会場: ながおか市民センター 202 会議室)

5 月 15 日 (土)

北信越支部研究発表・製品発表検討会
10:00～12:00 および 14:00～17:00
総会 13:00～13:30
支部賞授賞式 13:30～13:45
雪と氷の科学教室「雪の小千谷の雪氷楽会」
14:00～17:00
(会場: 小千谷市民学習センター楽集館)

技術交流会 18:30～20:30
(会場: ホテルプラザ片山)

5 月 16 日 (日)

見学会「小千谷 利雪・克雪めぐり」
9:30～12:40

5 月 15～16 日に小千谷市で開催した全イベ
ントは、特別会員・小千谷市との共催で実施され
たものであり、同市から様々なご配慮をいただ
いた。また、地元小千谷市の三陽工業株式会社 (賛
助会員) から、各イベントの準備・調整等で多
大にご協力をいただいた。

各イベントの詳細について以下に報告する。

支部学習会

日時: 2010 年 5 月 14 日 (金) 15:30～17:30
会場: ながおか市民センター 202 会議室
演題・講師:

- ・越後・京都・南極・ヒマラヤーイントロダク
ションに代えて
横山宏太郎氏 (中央農業総合研究センター・北
陸研究センター専門員)
- ・「雪」からの出会い
佐藤和秀氏 (長岡工業高等専門学校名誉教授)

まず横山講師から、佐藤講師の紹介を兼ねた話
があった。次いで佐藤講師から、ご自身の生まれ
から雪氷の世界に入って活躍された京都大学時
代、南極観測を続けられ教育にも熱心に取り組ま



写真 1 学習会での佐藤講師